令和３年度学校だより　３月号②
令和４年３月２５日発行
市川市立鬼高小学校　No.１３
文責：校長　早川淳子

鬼高っ子

学校ホームページ
ＱＲコード

学校教育目標　「未 来 を 創 る」　～他者とともに　自分らしく生きる　鬼高っ子～

㋐思いやりの心を持って　㋑人間性豊かに　㋒たくましく　㋓かがやく未来へ

鬼高小学校に校長として着任した昨年度の４月は、休校中でした。子供たちの声がしない学校は、今思い返しても本当に寂しいものでした。そして、子供たちの声と笑顔が戻った時には、「学校は、こうでなくちゃ」と、本当にうれしく、ありがたかったです。今でも、感染防止対策や学級閉鎖が続いていますが、子供たちと過ごせる学校は、本当に幸せな場所だと改めて感じています。

初めのころは、子供たちによく「校長先生は何歳ですか」と聞かれました。でも、「女性に年齢を聞くのは失礼ですよ。」と、答えませんでした。そのうち、子供たちもあきらめたようです。でも、本当は、寂しくなってしまうので、みんなと一緒に過ごせるのはあと２年だけ、ということを知られたくなかったのです。３月１８日の卒業証書授与式の子供たちは、本当に立派で、素敵で、かわいかったです。そして、私にとっても最後の卒業式。教員として勤めた３７年を子供たちと一緒に卒業する気持ちでした。子供たちと先生方と、保護者の皆様のおかげで、本当に素晴らしい卒業式ができました。



さて、この２年間、子供たちに伝え続けたこと。それは、自分と相手を大切に、一人一人の違いを認め合い、支えあえるような人になってほしい、ということです。「校長先生との約束」の「呼び捨てにしない」にはそんな思いがこもってます。「くん、さん」をつけて名前を呼ぶことで、相手を大切にする気持ちが伝わると思うのです。実際には、友達同士で呼び捨てにしないことは難しいと思うのですが、相手を大切にする気持ちは忘れないでほしいです。



この２年間、目まぐるしく本当にいろいろなことがありましたが、保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、何とか無事に学校運営を行うことができたことに、心より感謝しております。この特別な２年間を一緒に乗り越えてきた子供たちや保護者の皆様は、同志のように感じています。これから、まだまだ大きな変化が待ち受ける中、子供たちは、どんな未来を創っていくのでしょう。子供たちが、輝く未来を創っていけるよう、すべては子供たちのために、今後とも鬼高小学校を支えていただくよう、よろしくお願いいたします。もちろん、私も、大好きな鬼高っ子たちをずっと応援し続けます。この思いは、今年度末で退職・異動となるすべての教職員が抱いているものだと思います。本当に、ありがとうございました。

４月初めの予定

４月　７日（木）　始業式
４月　８日（金）　入学式（１クラスごと、５回に分けて実施します。）
　　※２～６年　臨時休業
４月１１日（月）　給食開始　　※１８日（月）１年生給食開始
４月１４日（木）　保護者会（予定）



